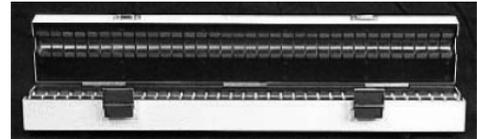




## TKT-20

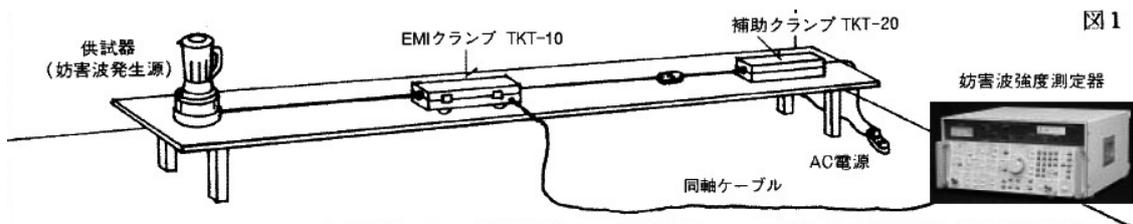
TKT-20は、交流電源で動作する機器から発生するVHF帯における妨害電力がEMIクランプを用いて測定する際に用いられる補助装置で、電源側から入ってくる測定対象外の妨害波を吸収低減させると同時に負荷インピーダンスの安定度を改善して測定をより安定に行うためのものであり、CISPRでも測定法でこれを使用することを勧告しています。

EMIクランプTKT-10に用いられている吸収体と同質のフェライトが使用されており、吸収による減衰度はこれと同等です。また、クランプオン形の構造になっているので測定回路の構成組立にも好都合です。



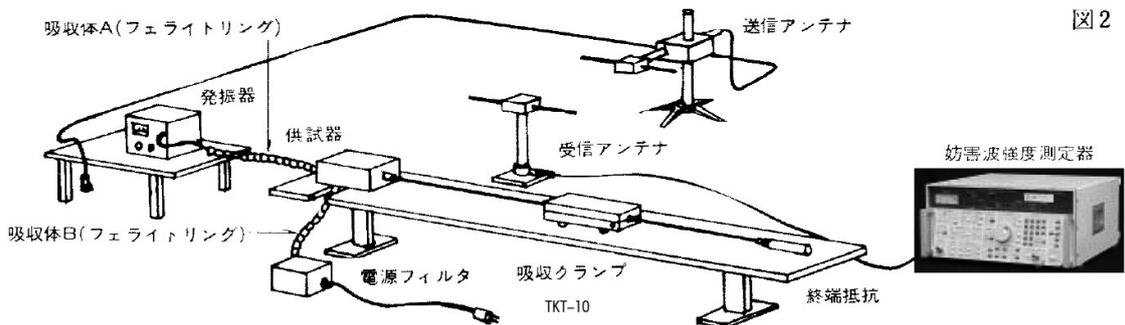
### 使用例

(1) 電源線に漏洩する妨害電力の測定……(図1)



(2) VHF帯における測定の場合、とくに輻射妨害電力の測定を行う際には、測定のために接続する入力高周波ケーブル、あるいは供試機器を動作させるための電源供給線など、測定対象外のラインのインピーダンスが配置の具合によっては大きく変化し、そのため、再現性の良い安定した測定値が得られなくなる。こうした場合この吸収体を用いることで多くの場合効果的にラインインピーダンスを安定させることができる。

(例) 妨害波輻射電力の測定法でフェライト吸収体を使用した例……(図2)



### 仕様

項目	型名	TKT-20
周波数範囲		30MHz ~ 300MHz (CISPR-16-1-2に準拠)
測定できる電源ケーブルの太さ		約 20φmm まで (被覆を含む外径寸法)
寸法・重量		592(W)×75(H)×90(D)mm、約 5kg

受注生産機種